

# 地盤資料の見方

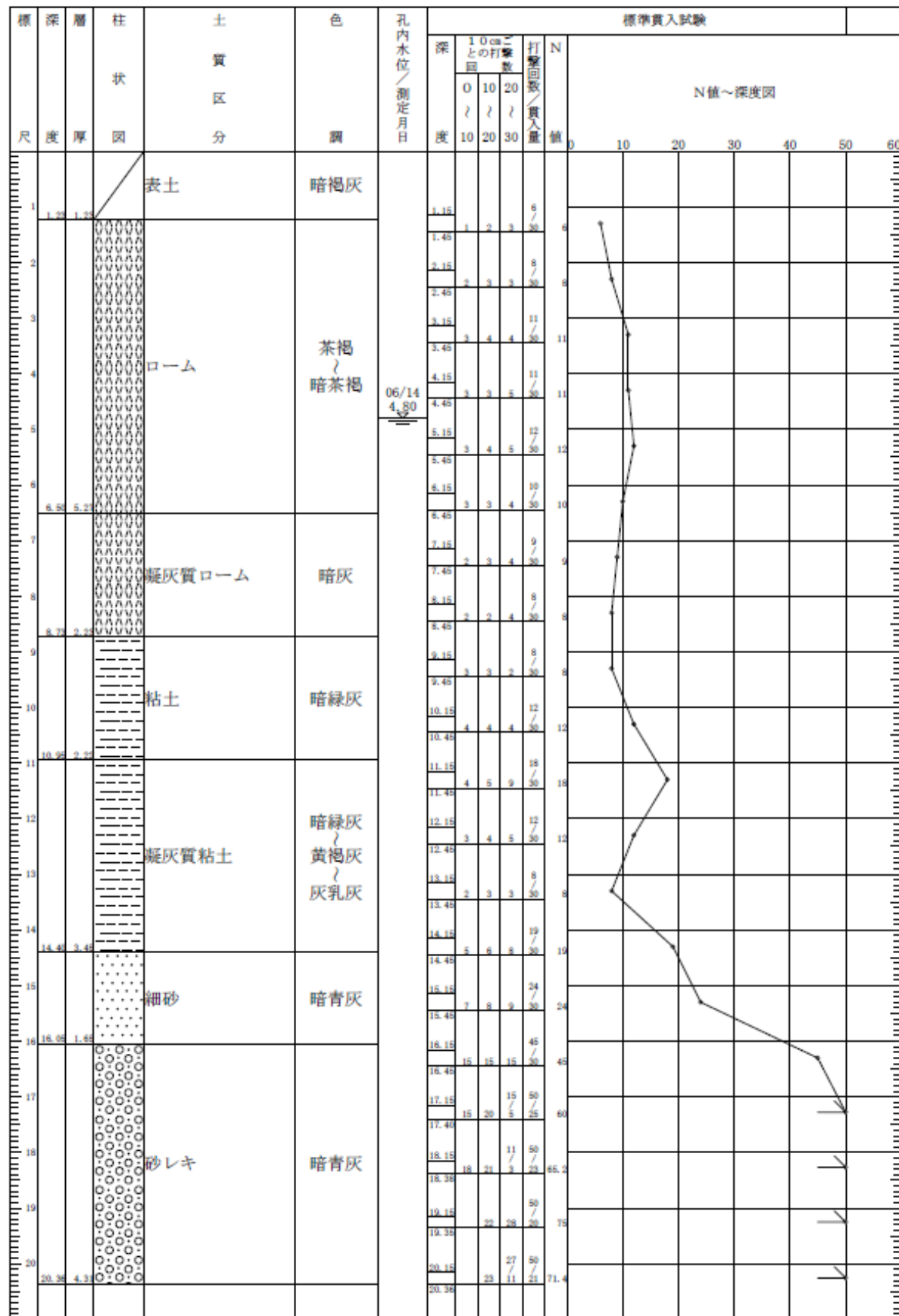
## 大田区地盤資料

整理番号：001-003

調査年月：昭和 46 年 6 月

住 所：大田区北千束一丁目39番付近

※この資料は区内で建築する際、地盤の状況を確認するための参考資料です。  
位置情報については、おおよその位置を示したものととなります。



土質分類記号			
礫質土	腐植土	廃棄物	
礫	泥岩	改良土	
粗礫	黒泥	瓦礫	
中礫	硬岩	盛土	
細礫	中硬岩	埋土	
砂質土	軟岩、風化岩	表土	
砂	風化岩	空洞	
粗砂	玉石	硬質粘土	
中砂	浮石（軽石）	固結粘土	
細砂	浮石	礫岩	
粘性土	シラス	砂岩	
シルト	スコリア	シルト岩	
粘土	火山灰	泥岩	
有機質土	ローム	頁岩	
火山灰質粘性土	黒ボク	粘板岩	
高有機質土（腐植土）	マサ		

補助記号 1	補助記号 2
玉石混じり	礫質
礫混じり	砂質
砂混じり	シルト質
シルト混じり	粘土質
粘土混じり	有機質
有機質土混じり	火山灰質
火山灰混じり	
貝殻混じり	

### 用語の説明

1. 標尺：基準となる長さを 1m 単位の主目盛と 10cm 単位の補助目盛で表示
  2. 深度：地表面からの深さ(m)
  3. 層厚：各層の厚さ(m)
  4. 柱状図：土の種類を記号で表現したもの
  5. 土質区分：土の種類を名称で表現したもの(柱状図模様と土質区分名称については、土質分類記号と補助記号を参照)
  6. 色調：調査が行われた時の土の色を表現したもの
  7. 孔内水位 / 測定年月：孔口(地表面)から地下水位までの深さ / 水位を測定した年月
  8. 標準貫入試験：土の相対的な硬さ、締まり具合などを表わす N 値を求めるための試験 (JIS A 1219)
  9. 標準貫入試験深度：N 値の測定を開始および終了した深さ
  10. 10cm ごとの打撃回数：貫入量 10cm ごとの打撃回数(貫入量 10cm 以外の近似値の場合は分母に貫入量を表示)
  11. 打撃回数：ハンマー(63.5kg のおもり)を 76cm の高さから落下させた時の回数
  12. 貫入量：上記の打撃(回数)により生じた SPT サンプラー<sup>※1</sup>の貫入深さ(cm:通常は貫入量が 30cm に至るまで行う)
  13. N 値：SPT サンプラー<sup>※1</sup>を 30cm 打ち込むのに必要な打撃回数(一般に地盤の強さを表す指標として利用される)
  14. N 値～深度図：[N 値]と[標準貫入試験中心深度]との折れ線グラフ(N 値最大値を 50 回とし、超える場合は→で表示)
- ※1: SPT サンプラー：ボーリングロッド先端に取り付ける N 値測定用装置(サンプラー)